

男性更年期検査のご案内

【男性更年期について】

- ・中高年の男性において、主に加齢またはストレスに伴うテストステロンの減少により生じる症状を加齢性性腺機能低下症（LOH症候群）と呼び、「男性更年期障害」という名称で知られています。脳や精巣の疾患が隠れていることもあります。
- ・テストステロンの低下は更年期症状だけでなく、さまざまな健康障害（メタボリックシンドローム・筋肉量や骨密度の低下・認知機能の低下など）と関連すると報告されています。テストステロンを正常に保つことは、男性が活力のある生活を送るうえでとても重要なことです。

【更年期症状の例】

- ・身体症状 : 疲れやすい、ほてり、発汗、筋力低下、肥満 など
- ・精神症状 : 憂うつな気分、イライラ、不安、集中力の低下、不眠 など
- ・性機能症状 : 性欲の低下、勃起障害、朝立ちの消失 など

【本検査の内容】

- ・総テストステロン濃度（血液検査） : テストステロンは、主に精巣で作られるアンドロゲン（男性ホルモン）であり、数値が低いことはホルモンの働きが低下していることを意味します。
- ・遊離テストステロン濃度（血液検査） : 生体内のアンドロゲン活性をよく反映します。
- ・男性更年期症状スコア : 更年期症状の有無や程度を把握する指数です。

テストステロン値と症状スコアにより、更年期障害の可能性や、精密検査の必要性などを判断します。

【検査の注意点】

- ・ 正確な結果を得るために、午前中に採血を行う必要があります。
- ・夜更かしは控えて、前日の夜には睡眠をとるように心がけてください。